

に対し、臨床検査医がどのように社会にあるいは医療機関の中で役立つのかを主題としなければなりません。学会が臨床検査医学の中で学術的な部分を引き受けなければならぬのと対照的ですが、年間を通した活動は両者ともに低調で、通り一遍の年間予定の消化をしているにすぎない感が否めません。年間予定をこなすことも大変なことではありますが、検査医学会も専門医会も組織だった活動ではなく、中枢部（キャビネット）の人達だけが悪戦苦闘しているように見受けられました。

私が目指すのは、全会員がそれぞれの立場をフルに活用した全員参加型の会の運営です。

新しい先生には新しい先生の、古株の先生には古株の先生の役割（義務）と責任があります。副会長に兵庫医大の小柴教授と昭和大横浜北部病院の木村准教授を指名しました。全国幹事の皆様に対しても、会員に対しても、運営をわかりやすく開示したいと考えています。各地の会員の先生方からどしどしご意見を出していただけるような運営を心掛けます。それぞれの地区の幹事の先生を通じて、あるいは直接出していただいた意見はオープンにし、幹事会にはかり、討議の結果も開示していく予定です。誰かがやってくれるのを期待するのではなく、自分たちの力で変えていこうという雰囲気作りが大事だと思っています。

今年一年は、改革の年になると思います。来年に花が咲くかどうかは不明です。実がなるのは、ずーっと先になるかもしれません。土の手入れしかできないかもしれませんが、耕すことだけは努力を怠らないことを誓って就任の挨拶と致します。会員の皆様の倍旧のご支援ご指導をお願い申し上げます。

② このたび、昭和大の木村先生ともども臨床検査専門医会の副会長を拝しました兵庫医科大学の小柴賢洋です。就任に際して、一言ご挨拶させていただきます。一口に「臨床検査専門医」と言いましても立場や専門性の異なる医師の集団です。そのため、私見ですが、「臨床検査専門医としてあるべき姿」も専門医の数だけ存在する

といっても過言では無いように思われます。そこで、会員の皆様の声を採り入れてそれぞれのお役に立てるようなさまざまな企画を立案、実施し、佐守会長の仰る「それぞれの立場をフルに活用した全員参加型の運営」を実現できるようにサポートしていきたいと考えています。

私個人は浅学非才の身でございますが、会員の皆様のパワーを結集すれば必ず良いものができるかと信じておりますので、どうぞご臍に。

③ Specialityを学ぶコミュニケーションの場にしましょう

このたび、まことに僭越ながら、日本臨床検査専門医会（以下「専門医会」）副会長を拝命いたしました、昭和大の木村 聡と申します。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

さて「検体管理加算」という追い風に乗れ、専門医の数は少しずつですが増えていきます。検体管理加算に対する医療機関経営者の評価も高いです。これはまさに、日本臨床検査医学会の歴代理事長先生はじめ、多くの先達のご苦勞の賜物と言えましょう。これを守り、加算に相応しく業務を充実させて行かねばなりません。

ふりかえって検査部の仕事をみてみましょう。血液・一般、病理、免疫血清、微生物、輸血、生理機能、超音波など、カバーする範囲は膨大です。ご自身の専門分野はもちろん、ほかにもいろんな領域で、医師として「指導的立場」に立たざるを得ない構図が見えてきます。実際、検査専門医試験では、実に広範な領域が問われます。そう、検査医には「マルチタレント性」が要求されるのです。ところが現実には、検査部医師は一人だけ、という施設も少なくありません。

もちろん、わからないところは文献を入手したり、技師さんに聞いたりできます。しかし・・・
「こんなことを尋ねたら、技師さんに馬鹿にされるのではないか」
「自分の技術は、見せると技師に笑われるので、近寄らないようにしている」
というような先生はいないでしょうか。私には少なからずそのような気持ちがあります。しかし、進んで近寄っています。
「医師は検査データを患者さんに還元する力を持っている。だから検査技術に習熟する必要は無い」。その通りです。でも技術のツボを知識として知っているだけでも、技師さんから大事にされることが出来るのではないのでしょうか。
そこで提案です。

20余年前、専門医会が成立されたとき、目指したのは「ギルドの会」でした。この分野は「技術」のカバーする範囲が広く、本を読むだけではなかなか体得できません。そこでこのギルドの会では専門分野の違うもの同士がお互いの専門分野を専門家から門外漢へ、あるいは先輩から後輩へと、手取り足取り教えあいながら成長しよう、という機運がありました。技師に訊きにくい質問や、specialityの領域以外は技師さんをアツといわせる技術を持ち合わせていない場合、医師である会員同士で教え合いをしよう、という趣旨です。

専門医会の会員はみな、Specialityを極められた先生方です。その道を極めるノウ

ハウと教授する十分な能力をお持ちです。ならば1つ2つのSubspecialityを追加することは、無理難題ではないように思われます。カバーする範囲が広がれば、検査室でさらに役立つことができるでしょう。

副会長の小柴賢洋先生は「専門医会は、同じような境遇でありながら、specialityの異なる先生方が集まるヘテロな集団」と仰っています。ならばご自分のspecialityを、腹を割って教え合い、他の学びたいという会員に分け与える場にできないでしょうか。これは東海大学の宮地勇人先生他のご提案でもあり、私も賛成です。したがって専門医会による教育の機会も、最低限の基礎知識を提供するベーシック編から応用編、最先端編と色分けして、最先端は臨床検査医学会にまかせ、あとの2つは専門医会で、恥を気にせず勉強できる境遇を提供する、という方式はいかがでしょう？

また、検査医学会で話されることが少ない話題に、「検査室管理」があります。半ばアートの領域ゆえ、なかなか文献になりにくいテーマですが、会員同士で顔を合わせているうちに、きっと解決のヒントがお互い得られるように思います。この件は、次年度の春季大会で結実すべく、渡邊 卓杏林大学教授が構想を練っておられます。

このように、検査室で働く医師のためのアットホームな研鑽の場として、このギルドの会が機能してくれることを願っています。会員の皆様には、希望されるテーマや、勉強会の形式など、多くのご意見をお寄せいただけますれば幸いです。

どうかよろしく願い申し上げます。

【平成24・25年度各種委員会委員のお知らせ】
平成24・25年度 日本臨床検査専門医会の各種委員会委員が決まりましたのでお知らせいたします。

情報・出版委員会（委員長：池田 均）
安東由喜雄、海渡 健、清水 力、増田亜希子、宮地 勇人、盛田 俊介

教育研修委員会（委員長：菊池 春人）
今福 裕司、北島 勲、鯉淵 晴美、佐藤 尚武、諏訪部 章、三井田 孝、山田 俊幸

資格審査・会則改定委員会（委員長：渡邊 卓）
河野 誠司、佐藤 尚武、メ谷 直人、下 正宗、村上 純子

渉外・広報委員会（委員長：木村 聡）
康 東天、菊池 春人、小柴 賢洋、諏訪部 章、藤原 久美、船渡 忠男、松永 彰、三井田 孝、金子 大、岸尾 正則、寺原 一行、山崎 敏治

保険点数委員会（委員長：佐藤 尚武）
大谷 慎一、大西 明弘、尾崎由基男、佐守 友博、中谷 中、米川 修、渡邊真一郎

専門医数増加方策WG（委員長：三宅 紀子）
上原 由紀、小倉加奈子、金子 誠、木村 聡、鯉淵 晴美、杉本 一博、東條 尚子、松下 弘道

【第2回生涯教育講演会のお知らせ】
すべての会員を対象としたリスクマネジメントと検査室管理に関する講演会です。臨床検査専門医の方は、資格更新の単位5点を取得することができ、臨床検査管理医の方も資格更新の単位5点を取得することができます。また、本講演会は、日本臨床検査医学会のリスクマネジメントに関する講習会のひとつとして認定されています。詳細はこちらをご覧ください。<http://www.jaclap.org/shogai/kyoiku/20120323lifet ime.pdf>

開催日時：平成24年3月23日（金） 16時30分～19時
（第22回日本臨床検査専門医会春季大会の前に開催されます）
開催場所：国際ホテル宇部 3F「パール」
〒755-0047 山口県宇部市島1-7-1
TEL：0836-32-2323
FAX：0836-32-2316

参加費：2,000円
事前申し込みは不要です。直接、会場におこしください。

《プログラム》

1. 今福裕司（福島県立医科大学感染制御・臨床検査医学）
「震災・原発事故と対応」
2. 土屋真一（日本医科大学付属病院病理部）
「乳腺病変における針生検と細胞診断の現状と問題点」

【第22回日本臨床検査専門医会春季大会のお知らせ】
第22回春季大会のプログラム概要をお知らせします。
詳細はこちらをご覧ください。<http://www.jaclap.org/spring/pdf/22spring.pdf>

大会長 日野田 裕治 教授（山口大学大学院医学研究科臨床検査・腫瘍学分野）
開催会場：国際ホテル宇部
〒755-0047 山口県宇部市島1-7-1
TEL：0836-32-2323

FAX : 0836-32-2316

開催日時 : 平成24年3月23日 (金) 、24日 (土)

1 日目 (3月23日 (金))

14 : 30-16 : 30 第2回全国幹事会
16 : 30-19 : 00 第2回生涯教育講演会
19 : 00-21 : 00 懇親会

2 日目 (3月24日 (土))

9 : 25-9 : 30 大会長 開会挨拶 日野田裕治 (山口大学)

9 : 30-12 : 00 シンポジウム 1

「遺伝子検査の今後」

司会

野村 文夫 (千葉大学)
矢富 裕 (東京大学)

シンポジスト

末広 寛 (山口大学)
中谷 中 (三重大学)
中山 智祥 (日本大学)
野村 文夫 (千葉大学)
前川 真人 (浜松医科大学)
宮地 勇人 (東海大学)

12 : 00-13 : 00 ランチョンセミナー

13 : 00-13 : 30 平成24年度第1回総会 (第40回日本臨床検査専門医会総会)

13 : 30-15 : 30 シンポジウム 2

「臨床検査専門医育成のための専門医教育のありかた」

司会

熊坂 一成 (上尾中央総合病院)
松尾 収二 (天理よろず相談所病院)

シンポジスト

土屋 達行 (日本大学)
本田 孝行 (信州大学)
玉真 健一 (University of Pittsburgh Medical Center)
原田 健右 (富山大学)
米川 修 (聖隷浜松病院)

15 : 30-15 : 35 次期会長挨拶 渡邊 卓 (杏林大学)

15 : 35- 大会長閉会挨拶 日野田裕治 (山口大学)

第22回春季大会事務局

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

山口大学 医学部附属病院 臨床診療部

山口大学 大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学分野

代表 末広 寛

TEL : 0836-22-2337

FAX : 0836-22-2338

e-mail : ysuehiro@yamaguchi-u. ac. jp

【平成24年度教育セミナー参加希望者 募集中】

平成24年度の「教育セミナー」の参加希望者を募集中です。これらは全会員が受講可能ですが、内容は臨床検査専門医試験受験者を対象にしたものです。募集期間は平成24年2月1日 (水) から3月30日 (金) までです。詳細ならびに申し込み方法は、http://www.jaclap.org/candidate/pdf/seminar_h24.pdf をご参照ください。

第80回教育セミナー「講義形式のセミナー」

日時 : 平成24年4月29日 (日) 9時から17時

場所 : 東京医科歯科大学

第81回教育セミナー「実技講習形式セミナー」

日時 : 平成24年5月20日 (日) 9時から16時

場所 : 自治医科大学

【平成24年度の行事予定】

平成24年度 日本臨床検査専門医会の行事予定をお知らせいたします。

開催日時、場所の変更が生じる場合があります。変更があり次第JACLAP WIRE、JACLAP NEWSでお知らせします。その都度ご確認ください。

平成24年

3月23日 (金) 第二回全国幹事会 (国際ホテル宇部)

3月23日 (金) 第2回生涯教育講演会 (国際ホテル宇部)

3月23日 (金) -24日 (土) 第22回日本臨床検査専門医会春季大会 (国際ホテル宇部)

3月23日 (土) 第40回日本臨床検査専門医会総会 (国際ホテル宇部)

4月29日 (日) 第80回 教育セミナー (東京医科歯科大学)

5月20日 (日) 第81回 教育セミナー (自治医科大学)

6月15日 (金) 第一回常任幹事会 (日本臨床検査専門医会事務局)

7月20日 (金) 臨床検査振興セミナー (東京ガーデンパレス)

9月21日(金) 第二回常任幹事会(日本臨床検査専門医会事務局)
11月29日(木) 第三回全国幹事会(国立京都国際会館(予定))
11月29日(木) 第41回日本臨床検査専門医会総会・講演会(国立京都国際会館(予定))
12月21日(金) 第三回常任幹事会(日本臨床検査専門医会事務局)

【会費振り込みのお願い】

24年度の会費振込用紙は、LabCPvol. 29No. 2に同封して2月中にお送りしますので、お早目の納入をお願いします。会費振込用紙にはすでに先生のお名前が記入されていますので、勤務先、所属、住所、E-mail addressの変更がありましたら通信欄にご記入をお願いいたします。

なお、振込用紙をなくされた先生は、郵便振込口座：00100-3-20509 日本臨床検査専門医会事務局までお願いいたします。年会費・・・正会員：1万円 有功会員：5千円
また、ご自身の振込状況が不明な先生は、事務局までE-mailまたは電話 FAXでお問い合わせください。

過去2年間会費を滞納している先生には、Lab CP、JACLaP NEWS、要覧の発送を停止いたします。悪しからずご了承下さい。

【住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について】

住所・所属の変更ともなって定期刊行物、JACLaP WIREなど電子メールの連絡が着かなくなる会員がいます。

勤務先、住所およびE-mail address等の変更がありましたら必ず事務局までお知らせ下さい。変更事項は本年度会費の振り込み用紙に記載するか、ホームページから【会員情報変更届】をダウンロードしてそれに記載し、FAXあるいはE-mailでお送りください。

<連絡先>日本臨床検査専門医会 事務局
(水・土日祝祭日は休業日)
電話・FAX：03-3864-0804
アドレス：senmon-i@jaclp.org

=====

JACLaP WIRE No. 133 (2012年 2月16日発行)
☆発行：日本臨床検査専門医会 [情報・出版委員会]
☆編集：JACLaP WIRE編集室 編集主幹：盛田俊介
東邦大学医療センター大森病院臨床検査部
TEL:03-3762-4151 (内線3434) ・FAX:03-3762-9730

=====

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

メーリングリスト配信先の変更には
1. 氏名、2. 現行登録アドレスと3. 変更希望メールアドレスを添えて
senmon-i@jaclp.orgで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。
